

# 日本とアメリカの占星術に関する迷信

## Astrology-Related Superstitions in Japan and America

ローラ・ベリー Laura Berry

82-372: Advanced Japanese II

### 1. はじめに

アメリカの小学校性だった時、毎日休み時間で友達と一緒に占星術の本をいつも読んだ。友達の星座は獅子宮だった。獅子宮の人は、うるさくて強気で大胆人と言われる。私の星座は宝瓶宮だった。宝瓶宮の人は恥ずかしくて独創的で誠実な人と言われる。この特質は本当かもしれないが、子供の頃本当に信じた。現代、信じないと思うが、友達はまだ本当に信じる。私の意見は普通か、友達の意見は普通かどうか分からない。最近占星術は本当に人気がある。アメリカと日本の雑誌、新聞、ブログでは毎日のホロスコープを読まれる。しかし人間は本当に占星術を信じるのが分かりにくい。現実か？楽しいだけか？さまざまな意見を聞いた。だから、トピックの質問は「日本とアメリカではどんな占星術に関する迷信があるか」だ。今の結論は、社会には今、占星術は宗教と関係がないと思う。そして、日本とアメリカでは、本当に占星術に関する迷信に信じることは普通じゃないと思う。たぶん、普通の人には、本当に信じるということか、本当にホロスコープを信じたいと思う。しかし、占星術は宗教と関係がないから、アメリカ人と日本人はあまり信じない。

## 2. 日本とアメリカではどんな占星術に関する迷信があるか？

### 2. 1. 占星術の歴史は何？

今日の雑誌のホロスコープはバビロニアから出た。紀元前二千年紀の時、天の占いについて聖典を書いた。それから、紀元前千六百年頃「エヌーマ・アヌ・エンリル」碑を書いた。政治と天気に関する数千の前兆があった。現代、めったにそのような前兆がない。一世紀、エジプトからホロスコープの種類を出た。ペルジャはエジプトを打ち勝ったから、ホロスコープの元はバビロニア人と考えられる。しかし、中国の占星術の方がバビロニアの占星術より古いです。紀元前三千年紀の時、天文学に関するシステムは始めた。中国の占星術は中国の哲学「天、土、水」と関係する。バビロニアの占星術も中国の占星術も十二の星座があるが、偶然だけだ。

### 2. 2. 日本とアメリカでは、どんな種類の占星術を使うか？

アメリカと日本では、毎日生活を占うために種類のバビロニアの占星術を使う。読者は、作家はそのようなホロスコープをでっち上げることが周知された。ホロスコープの利用は、読みたら、ラッキーの感じがある。アメリカでは、人は本当に占星術について学んだら長くて徹底的本を読むことができる。そして、日本では全体の年を占うために中国の占星術を使う。説明するために、日本人は両方の種類を使うから、二月1994年の赤ちゃんは両方の戌と宝瓶宮だ。バビロニアの占星術は月例で、中国の占星術は毎年だ。

### 2. 3. アメリカの占星術に関する迷信は何？

アメリカの二十世紀に、占星学のリバイバルがあった。1930年代前に、アメリカ人はホロスコープをあまり読まなかった。それから占星術師のポール・クランシーはホロスコープを広めてみた。クランシーの雑誌「アメリカン占星学」はとても人気があった。現代に、まだ人気がある。アメリカでは、デートを占うためにバビロニアの占星術を使う。例えば、獅子宮の人は親切な双児宮の人を付き合いたいなら、ホロスコープのコラムで引くかもしれない。ホロスコープによると良くない考えだったら、デートをしない。しかしコラムによると獅子宮と人馬宮の関係はいいかもしれない。だから獅子宮の人は人馬宮の人に合ってみたい。いろいろなデートすることについて迷信があるが、政治にも占星術に関する迷信がある。1981年に、ジョン・ヒンクリーはロナルド・レーガン大統領を殺害してみた後で、夫を守るために、ナンシー・レーガンは占星術師を雇用した。ところがアメリカの公衆は「ホワイトハウスの占星術師」について習ってから、本当に恥ずかしいと言われた。もしかしたら秘密に占星術を信じることはいいかもしれないが、まだ恥ずかしいと言われる。

## 2. 4 日本の占星術に関する迷信は何？

日本にも、いろいろな雑誌と新聞ではホロスコープを読むことができる。しばしばホロスコープは恋愛的事やデートすることを占うから、特に女性は読む。でも、日本のホロスコープの暴騰はいつですか。世界大戦二の後、西部の占星術とホロスコープはだんだん人気になった。1995年に、英国人の占星術師のウォルター・バーグは「13星座の星占い」を書いた。第13星座は蛇遣い座だった。ラジオパーソナリティの水井久美は英語から日本語へバーグの本を翻訳した。10日以内に、すべての本屋は「13

星座の星占い」を売り払った。1996年に、毎週月曜日にフジテレビジョンの番組で、バーク氏は占星術について話し合った。いろいろな芸能人と政治家の占星術的なプロフィールを書き始めた。他の本の「血液型×星座占い－48 ランキングで本当の自分分かる!」を出版した。近年に、日本の蛇遣い座はアメリカの蛇遣い座よりも人気がある。しかし「13星座の星占い」の到着前に、中国の占星術が一番人気があった。中国の占星術は、人の人格は当歳と関係する。例えば、1996年の赤ちゃんは子（ネズミ）と言われる。子の人には賢くて豊かな人と言われるが、またわがままと言われる。そして、所定の年の時、人々は不運と思っているかもしれない。例えば、1966年は丙午だった。1966年の時、比較的に少ない子供は生まれた。この年、出生率は25パーセントを減た。そして、中絶の数は多かった。しかし、1967年の時、出生率と中絶率は再び普通になった。次の丙午は2026年だ。2026年の次の丙午の時、同じ現象を見えるか？

### 3. おわりに

私は日本の占星術に関する迷信について習ったら、びっくりしなかった。映画から音楽まで日本とアメリカのポップカルチャーにしばしば似ている。占星学に似ていることと考える。日本人のゲストによると、日本の社会には今、あまり宗教と関係がない。昔、坊さんは星座を占うかもしれないが、現在、迷信だけと言われる。今日の占星術師は神社、教会、寺と関係がない。アメリカは同じだと思う。占星術師は結構司祭じゃない。他の似ていることは、アメリカでも日本でも占星術は女らしいと言われる。説明するために、女性の雑誌ではホロスコープのコラムを出版するが、男性の雑誌ではホロスコープがない。一つ違いは、アメリカのニュース番組ではホロスコープがない。そして、ア

アメリカでは蛇遣い座があまり使わないが、2011年に、占星術師と記者は蛇遣い座を使うことを論じていた。結局まだアメリカ人は蛇遣い座を使わない。理由は、占星術は科学的なことじゃないから、正しさより楽しさのほうが重要なことだ。科学的な根拠がないのに、国際的にいろいろな人は占星学を楽しむ。日本人のゲストの大迫さんによると、いろいろな人はホロスコープを読む。女性のほうが男性より多いようだ。しかし「私も結構信じます」と言った。宗教的なことも迷信的なことも本当なこともだけど、それよりも楽しいことだと言われる。